

県難言研ニュース

岩手県難聴言語障がい教育研究会事務局（盛岡市立桜城小学校内）

〒020-0022 盛岡市大通3-8-1

TEL/FAX 019-624-0457

e-mail:jimukyoku@iwate-nangen.jp <http://www.iwate.nangen.jp>

令和3年度 第2回理事会の報告

9月29日（水）、桜城小学校において第2回理事会が開かれ、事業報告や研究推進の経過報告が行われました。また、理事会終了後に「結成50周年記念事業 第3回実行委員会」が開かれました。

事業報告では、令和3年度版担当者名簿作成、令和3年度幼児児童生徒数調査、ホームページの更新等の報告がありました。

研究推進の経過報告では、各研究班、各理事から、研修の工夫や情報交換、個人研究の充実等、現在の状況や今年度の計画の報告があり、今年度もコロナ禍の影響で活動に制限がありましたが、工夫をして各研修が進められている状況が報告されました。

協議では、延期となっていた「岩手県難聴言語障がい教育研究会結成50周年記念第62回研究大会」を次頁の通り開催することが確認されました。また、研究会の新名称に関して、様々なご意見が出され、今後事務局で検討し理事の承認を得て、記念式典で新名称の発表をすることとなりました。なお、祝賀会は、新型コロナウイルス感染症の状況から開催しないこととなりました。



【会長のあいさつ】



【リモート参加の様子】

◇◇◇ 結成50周年記念第62回研究大会について ◇◇◇

【大会主題】

50年の歴史をふまえ、新しい時代につながる難聴・言語・LD等の教育の専門性をめざして

- ◆期 日 令和4年1月7日（金）
- ◆会 場 いわて県民情報交流センター「アイーナ」7階小田島組☆ほ～る，8階研修室等
- ◆日 程

9:20 9:45 11:15 11:30 13:00 14:00 14:40 15:00 16:30 16:40

| | | | | | | | | |
|--------|---|--------|--|--------|----------|--------|----------|--------|
| 受 付 | 分科会 90分 校長班 ☆幼児班 LD班（小学校） 地区研（2地区） ☆幼児班 | 休 憩 | 分科会 90分 難聴班 LD班（中学校） 地区研（2地区） | 昼 食 | 記念 式典 | 休 憩 | 記念 講演 | 閉 会 |
|--------|---|--------|--|--------|----------|--------|----------|--------|

- ◆内 容 研究班・地区研究会の研究の発表と協議，記念式典，記念講演
- ◆発 表 研究班…校長班，難聴班，LD班，☆幼児班（発表ではなく実践交流）
地区研究会…岩手・胆江・宮古・県北地区

記念講演

演 題 「こ と ば の 力」

講 師 重 松 清 氏(直木賞作家)

記念講演に関しては、OBの先生方のご支援・ご協力により、重松先生をお呼びすることができました。OBの先生方に心より感謝申し上げます。

【講師紹介】

1963年岡山県久米郡久米町（現津山市）生まれ。早稲田大学教育学部卒業。出版社勤務を経て執筆活動に入る。1991年『ビフォア・ラン』でデビュー。1999年『ナイフ』で坪田譲治文学賞，同年『エイジ』で山本周五郎賞，2001年『ビタミンF』で直木賞，2010年『十字架』で吉川英治文学賞，2014年『ゼツメツ少年』で毎日出版文化賞を受賞。学校の中での子どものいじめや不登校，家庭崩壊と子どもなど，現代の社会問題・教育問題の中で，小説で取り上げることの少なかった問題を丹念に拾い上げ，注目を浴びる。『きよしこ』『青い鳥』は吃音を題材とした作品。『カレーライス』は，教科書のための書き下ろし作品。『希望の地図 3.11から始まる物語』『希望の地図 2018』は，被災地を回り，そこで出会う人々の復興への夢と希望を綴るドキュメントノベル。

- *研究大会のご案内（要項及び参加申込用紙）は，11月中旬頃に各教室にお送りします。
- *過日の第3回実行委員会において，講演会には，通級生保護者も参加可能となりました。通級生保護者へのご案内は，後日，県事務局より各教室に送信いたします。

〔事務局から〕

昨年度は、結成 50 周年記念事業として、記念誌を発刊することができました。原稿の執筆にご協力いただきました元役員、実行委員の皆様には感謝申し上げます。前副会長の森田巧先生が、「研究会は、これまでの歴史を踏まえながら自分たちの道を歩むように、温故知新を大事にしてほしい。」と言っておられました。この記念誌は歴史をふり返る資料となり、今後の私たちの道しるべになることでしょう。

延期になっておりました記念式典や記念講演も、いよいよ準備を始めました。記念式典では、これまで重ねて検討してきました新名称が発表されます。また、記念講演の講師を、直木賞作家の重松清先生が、お引き受けてくださいました。「ことばの力」という演題で、お話ししていただきます。私たちにどんなに大きな力を与えてくださるか楽しみです。

きこえの教室、ことばの教室、LD等通級指導教室、幼児教室担当者が、これまで以上に共に研究を進めていくことができる、記念すべき大会となることが期待されます。たくさん参加することで、先輩OBのご支援へ感謝したいと思います。

実行委員となっている理事や事務局を中心に、準備を進めていきますが、地区ごとの役割もありますので、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【訃報】

元岩手県ことばを育む親の会会長 うす ざわ ひろ やす 白 澤 弘 泰 様

元県親の会会長でありました白澤 弘泰様が、8月にご逝去されました。平成5年から10年まで副会長、平成11年から18年まで会長を務められ、県内の「きこえの教室」「ことばの教室」「幼児教室」の開設や教室のよりよい環境づくり等、児童・生徒、保護者、担当者のためにご尽力いただきました。

盛岡市立好摩小学校教諭 たね いち あき お 種 市 明 生 様

ことばの教室担当でありました種市明生先生が9月にご逝去されました。研修会では、口蓋裂の講師として、多くのことをお教えていただきました。また、冊子「口唇口蓋裂（唇顎口蓋裂）矯正治療」「口唇口蓋裂（唇顎口蓋裂）の手術」を執筆され、県内全てのことばの教室に寄贈していただきました。



お二人の生前のご功績に感謝し、ご冥福をお祈りしたいと思います。

（事務局長 下村 絹子）

〈地区研究会の紹介〉 上閉伊・気仙地区

上閉伊・気仙地区研究会は大船渡市，陸前高田市，住田町，釜石市，大槌町，遠野市の言語 12 教室，難聴 5 教室，幼児 6 教室，LD 等 1 教室の 24 名で構成されております。

今年度はコロナ感染拡大防止のため，第 1 回目の地区総会は書面決議となりました。第 2 回目の研修会は難聴班と言語班に分かれて，授業研究や実践交流を行いました。

【難聴班】（8 月 2 日）

研究授業（VTR）

「重度難聴児の指導・支援について」授業者 越喜来小学校 難聴学級担任 佐々木久美子先生

人工内耳装用児の自立活動で障がい認識についての授業を視聴しました。児童は 3 年生であり，指導の時期としては適切と思われます。更に耳の構造や聞こえ方などについて図やクイズを使って学習していました。

実践交流会

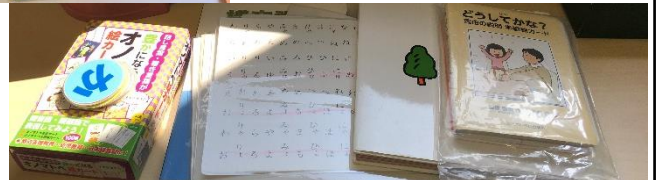
難聴児の発達段階についての指導，交流学級での友達とのかかわり方，ことばを増やす学習のしかたなどを交流することができました。

【言語・幼児・LD 等班】（8 月 5 日）

研究授業（VTR）

「側音化構音の実態把握と指導方法について」授業者 気仙小学校 佐藤 司先生

児童の舌の動きや「ヒ，イ」の構音の状態を 25 項目でチェックする方法を見せていただきました。



実践交流，教材交流

- ・ピンポン玉の下の綿をとばす（「シ」の練習）
- ・絵カード，「MIM」，変身体操カード
- ・フーフーゲームなど

皆さんの汗と涙の結晶ともいえる教材の数々を交流することができました。

第 3 回研修会は，1 月に理論研究会として岩手県立盛岡聴覚支援学校の高橋早那英先生を講師としてお招きし，「難聴児の指導・支援」についてご講義いただく予定です。